

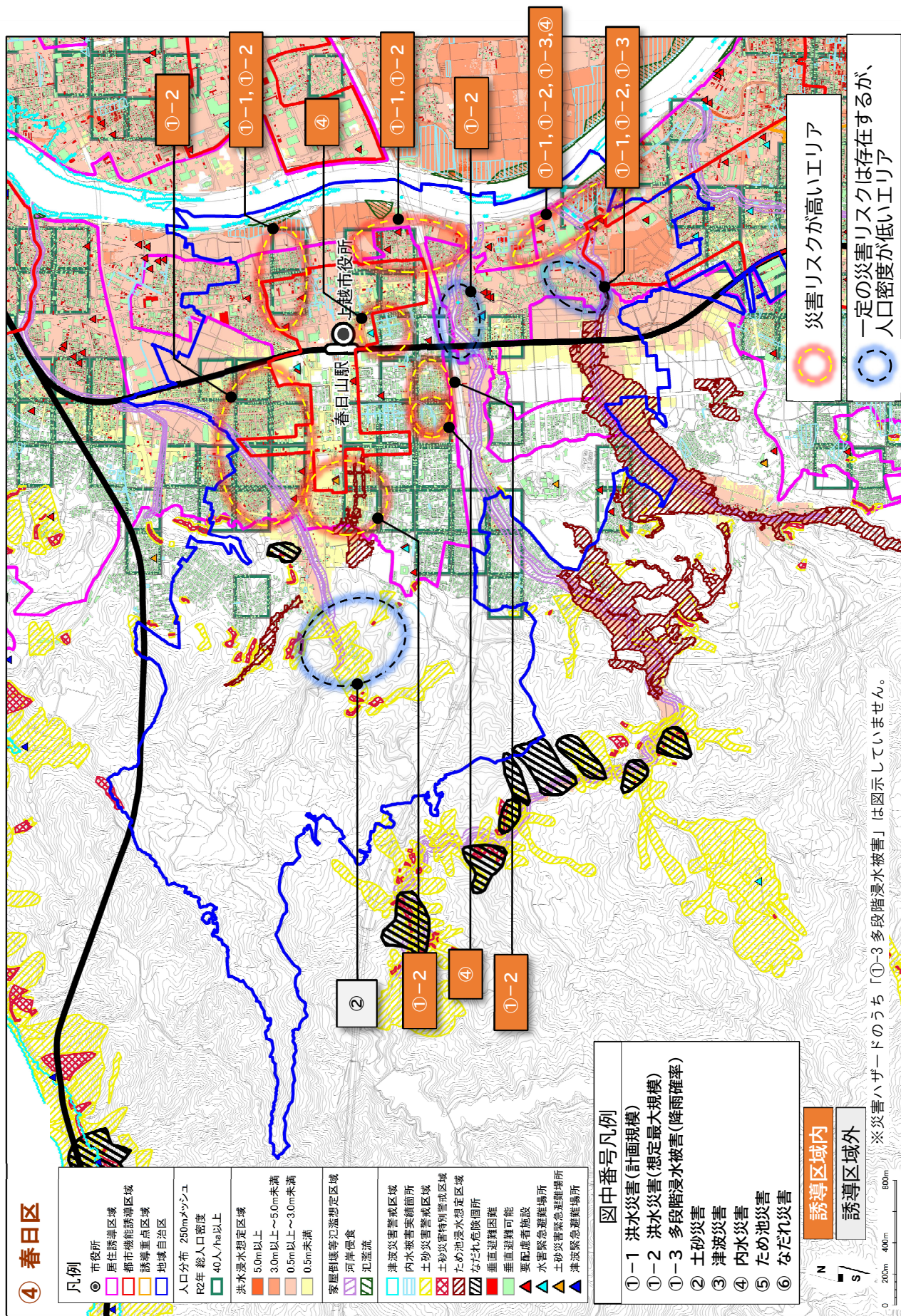


表 災害リスクの整理 (④春日区)

災害ハザード	災害リスク	含まれる 誘導区域(*)			
		居	都	重	外
①ー1 洪水災害 (計画規模)	区東部の関川に近接するエリアにおいて洪水による浸水被害のおそれがあり、人口密度や高齢者人口割合が高く垂直避難が困難なエリアが見られ、エリア内に要配慮者施設も複数立地し災害リスクが高い。	●	●	—	●
①ー2 洪水災害 (想定最大規模)	上記計画規模と同様のエリアに加え、春日山駅西側エリアまで広い範囲で災害リスクが高い。 特に、正善寺川、御館川沿いの市街地において家屋倒壊等氾濫想定区域が指定され、かつ人口密度が高く、災害リスクが高い。 また、地区南端の関川に接する一部のエリアにおいても家屋倒壊等氾濫想定区域が指定され、かつ高齢者人口割合が高く、災害リスクが高い。	●	●	—	●
①ー3 多段階 浸水被害 (降雨確率)	関川沿いにおいて、現況から中長期にかけて中頻度(1/50)の0.5m以上浸水想定区域があり、高齢者人口割合の高いエリアにおいて災害リスクが高い。また、人口密度は低いものの、土橋地区の土地区画整理事業地においても、同様に浸水想定区域が見られることから留意が必要である。 想定最大規模では、現況から中長期にかけて浸水深0.5m以上の浸水想定区域が、おおむねえちごトキめき鉄道以東において広がり、高齢者人口割合が高いエリアも散見されることから災害リスクが高い。 浸水深3.0m以上となる中低頻度以上の災害リスクは区内には見当たらない。	●	—	—	—
② 土砂災害	区西部山間部の集落において、土砂災害警戒区域に指定され、かつ高齢者人口割合が高いエリアがあり、災害リスクが存在する。	—	—	—	●
③ 津波災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
④ 内水災害	春日山駅東南部、春日山駅西南部及び関川沿いにおいて、内水浸水実績箇所が指定されており、かつ高齢者人口割合が高いエリアがあり災害リスクが比較的高い。	●	●	—	—
⑤ ため池災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
⑥ なだれ災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—

(*) 居:居住誘導区域、都:都市機能誘導区域、重:誘導重点区域、外:誘導区域外、—:該当なし

【居住誘導区域内の災害リスクについて】

区東側の関川沿いにおいて、居住誘導区域内における洪水災害に関し、浸水区域と人口密度、高齢者人口割合の高いエリアがあり災害リスクが高い。特に区南端部においては多段階浸水区域(浸水深0.5m以上、中頻度)かつ高齢者人口割合が高いエリアがあり災害リスクが高い。

また、春日山駅に近い住宅地において、家屋倒壊等氾濫想定区域(正善寺川や御館川の河岸浸食)や内水浸水実績箇所と高齢者人口割合が高いエリアの重複が見られる。